

少子高齢化社会と街づくりについて

一般質問



丸岡 弘満 議員
(自民の風・誠真会)

問 宇仁郷まちづくり協議会は、シビックプライドの醸成を目指し、さまざまな取り組みに挑戦している。なかでも朝市部会は、高齢者の生きがいの場としてのビジネスモデルケースになりうるため、市役所に他の協議会とのブリッジ役と取りまとめをしていただきたい。

答 朝市部会は好評を博してビジネスモデルとしても成立しており、見習う形で西在田創造会議では間もなく取り決めが始まり、また、九会創造会議においても網引駅前での農産物マルシェを検討中です。28年度には大会議

を開催し、個別部会のネットワーク化を早期に進めていきたいと考えています。

問 薪能の実施理由と、雨天時や自由席の運営方法について。

答 風土記記念事業を一過性にするのではなく、継続すべきとのご意見を多数いただいております。新しい文化を加西市に定着させる第一歩と考えています。

また、当日の運営については、雨天時は興行を中止し、保険を利用したチケットの払い戻しを行い、全1,200席の有料自由席については、受付テント前で整理券の配付を行うことで混雑への対応をする予定です。

意見 加西市のPRや誇りとなるような事業にしなければならない。パンフレットの配布やホーム

ページ等での広報だけでは他力本願に過ぎる。市がやる以上、自分たちも汗をかかなければいけない。

また、市が中心となって、お金も人も出して興行するのはいかなものか。市は本来の意義である歴史文化の周知やブランド化を担当し、一方、イベントや個別事業については、市民組織の法人化や民間事業委託によって効率的に事業実施するのが本来の姿ではないか。

■その他の質問項目

- ・障がい者支援策と福祉支援策について
- ・安全・安心と危機管理体制について
- ・教育行政について
- ・行政サービスの構造改革について
- ・市長施政方針について

誰もがみんな元気で安心して暮らせる加西について

一般質問



土本 昌幸 議員
(公明党)

健康づくりについて

問 生活習慣病の予防は健康寿命を延ばし、本人の幸福のみでなく、医療費削減効果も期待できます。

そこで、「第2次健康かさい21」にある特定健診・がん検診の受診率の数値目標を達成するためには新たな方策が必要だと考えますが、いかがか。

答 平成27年度は、モデル地区を定めて老人クラブの地元役員さん等に協力いただき、未受診者の戸別訪問と勧奨に取り組んだことが成果につながりました。

この波及効果と一層の受診率向上を狙い、今後、がん検診も加えた積極的な勧奨を考えています。とりわけ受診率の低い子宮頸がん検診や乳がん検診については、節目年齢5歳ごとに送付している無料クーポン券が受診に、そして、受診が継続受診につながるよう、待ち時間を利用したミニ健康教室やパンフレットの配布などの実施を考えています。

また、平成26年度の健康意識調査におけるがん検診未受診の理由は、「健康だから必要性を感じない」との回答が多く、早期発見には自覚症状のない段階からの受診が大切であるとの啓発にも努めていきたいと考えています。

介護予防と生活支援について

問 高齢者の多くが望む、住み慣れた自宅での生活を可能

な限り実現できるよう、支援体制を構築する必要があります。平成28年度に新しく始まる、介護ボランティアポイント事業、生活・介護サポーター養成講座事業の詳細についてお聞かせください。

答 多様なサービスの担い手をふやすために、生活介護サポーターの養成講座を開催し、スキルアップされた方に介護ボランティアポイント制を導入することで、高齢者を地域で支えあう仕組みや生きがいづくりの後押しになればと考えています。

■その他の質問項目

- ・市長施政方針について
 - 子どもが元気に育ちいきいきと活動する加西
 - 雇用と経済が元気を取り戻す加西
 - 地球に優しい環境都市加西